

# 教科用特定図書等の普及促進について

## 音声教材について

音声教材とは、発達障害等により、通常の検定教科書では一般的に使用される文字や図形等を認識することが困難な児童生徒に向けた教材で、パソコンやタブレット等の端末を活用して学習する教材。「障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等に関する法律」（教科書バリアフリー法）に基づき、教科書発行者から提供を受けた教科書デジタルデータを活用し、ボランティア団体等が製作している。文部科学省は、以下の団体に調査研究を委託しており、その成果物である音声教材を読み書きが困難な児童生徒に無償提供している。

## 音声教材製作団体の概要

### 公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会

(<https://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/book/daisytext.html>)

- 教材名：マルチメディアデイズー教科書
- 主な特徴：音声、本文等テキスト、挿絵等の図版を含む。ハイライト機能あり。音声は肉声及び合成音声。視覚と聴覚から同時に情報が入り内容理解がしやすい。小学校・中学校の教科書を中心に作成。パソコンやタブレット端末にて利用可能。
- 利用者実績：14,211人（令和2年度）



### 茨城大学

(<http://apricot.cis.ibaraki.ac.jp/textbook/>)

- 教材名：ペンでタッチすると読める音声付教科書
- 主な特徴：ICT端末は使わず、紙冊子と音声ペンで使用する。紙冊子は通常の教科書と見た目がほぼ同じ。鉛筆等で書き込み可能。音声は肉声。小学校・中学校の国語を中心に作成。持ち運びしやすく、小学校低学年でも簡単に一人で操作できる。音声ペンで文字をタッチして読むことで意識が紙面に向き、能動的な読書になる。
- 利用者実績：1,468人（令和2年度）



### 東京大学先端科学技術研究センター

(<https://accessreading.org/>)

- 教材名：AccessReading
- 主な特徴：本文等テキスト、挿絵等の図版を含む。読み上げは合成音声。文字の大きさ、色の変更、ハイライト機能など、アプリの機能で様々な調整が可能。小学校高学年・中学校・高校の教科書を対象。Word版とEPUB版の2種類を作成。iPad、Windows、Chromebook等のパソコンやタブレットで利用可能。
- 利用者実績：277人（令和2年度）



### 広島大学

(<https://home.hiroshima-u.ac.jp/ujima/onsei/index.html>)

- 教材名：e-Pat（文字・画像付き音声教材）
- 主な特徴：サイズ等の変更が可能なテキストを合成音声で読み上げる。読み方を指定しているため正確に読み上げる。単語の辞書検索も可能。音声読み上げ中、同じページ番号の原本教科書画像データに表示切り替え可能なため、授業中、授業者の指示に対応しやすい。小学校・中学校・高等学校の教科書を対象。iPad、iPhoneなどのiOS機器にて利用可能。
- 利用者実績：188人（令和2年度）



### NPO法人エッジ

(<https://www.npo-edge.jp/>)

- 教材名：音声教材BEAM
- 主な特徴：音声のみの教材（テキストや挿絵等の図版はなし）。音声は合成音声。小学校・中学校の国語・社会を中心に作成。スマートフォン、ICレコーダー等、mp3ファイルが再生可能な機器で利用可能。データ容量が軽く、操作が簡便。耳からの情報に集中できる。
- 利用者実績：260人（ほか団体申請23件（令和2年度））



### 愛媛大学

○教材名：UNLOCK (<http://treasure.ed.ehime-u.ac.jp/unlock/index.html>)

- 主な特徴：電子辞書は、音声、本文等テキストを含む教材（挿絵等の図版はなし）。音声ペンは、音声のみの教材（テキストや挿絵等の図版はなし）。音声は合成音声。音声の種類・再生速度を選択可能。電子辞書を用いてテキスト形式（.txt）ファイルを表示。パソコンやタブレット端末にて利用可能なPDF・EPUB版も提供。文字の大きさ等を変更可能。小学校・中学校・高等学校の教科書を対象。
- 利用者実績：106人（令和2年度）



○各団体の製作する音声教材の概要

団体名	教材名称等	規格	対応OS	再生ソフト	教材の主な特徴	利用者実績等 (R2年度)	提供方法
公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会	マルチメディアディジー教科書	DAISY	Windows、iOS、Android、Chrome	ChattyBook Express、ChattyBooks、リーダー、しゃべる教科書、ボイスオブディジー等	○音声、テキスト、挿絵等 ○肉声、および合成音声 ○小・中学校の教科書が主たる対象 ○ハイライト機能あり ○音声とテキストが同期し、画像も表示されることにより、視覚と聴覚から同時に情報が入り、内容理解がしやすい。 ○学習障害、発達障害をはじめ、多くの読みに困難をかかえている生徒に対応。	・小学校11,998人 ・中学校2,185人 ・高校28人 計14,211人	郵送又はダウンロード <a href="http://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/book/daisytext.html">http://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/book/daisytext.html</a>
国立大学法人東京大学先端科学技術研究センター	AccessReading	DOCX EPUB	Windows、iOS、macOS、Android、Chromebook	DOCX形式はMicrosoft Word、EPUB形式はiOSのブック、Android、ChromebookのGooglePlayブックス等	○テキスト、挿絵等 ○音声はテキスト読み上げ機能による合成音声 ○小学校高学年・中学校・高等学校の教科書を対象 ○文字の大きさ、色の変更、ハイライト機能など、アプリの機能で様々な調整が可能 ○Word版、EPUB版の2種類を作成	・小学校 43人 ・中学校 135人 ・高校 99人 計 277人	郵送又はダウンロード <a href="https://accessreading.org/">https://accessreading.org/</a>
NPO法人エッジ	音声教材BEAM	MP3	Windows、iOS、macOS、Android	m p 3を再生できるすべてのソフトウェア	○音声のみ（テキスト、挿絵なし） ○合成音声を加工（肉声に近い音声） ○小・中学校の教科書が主たる対象 ○データが軽く、スマートフォンや電子辞書、ゲーム機等、m p 3ファイルが再生できる機器すべてに対応 ○操作が簡便 ○目からの情報が邪魔になることなく耳からの情報に集中できる	・小学校 196人 ・中学校 64人 計 260人 ほか団体申請 23件	郵送又はダウンロード <a href="https://www.npo-edge.jp/support/audio-materials/">https://www.npo-edge.jp/support/audio-materials/</a>
茨城大学	ペンでタッチすると読める音声付教科書	-	-	(音声ペン)	○パソコンやタブレット等のICT端末は使わず、紙冊子と音声ペンで使用する音声教材 ○微細2次元コードが印刷された紙冊子は、通常の教科書と見た目がほぼ同じ ○聞きたいところを音声ペンでタッチするとその部分の音声再生される ○肉声 ○小・中学校の教科書が主な対象 ○紙冊子には、鉛筆やペンでの書き込みが可能 ○持ち運びやすく、小学校低学年でも一人で操作が簡単 ○音声ペンで文字をタッチして読むことで意識は常に紙面に向き、能動的な読書になる	・小学校 1,332人 ・中学校 136人 計 1,468人	郵送 <a href="http://apricot.cis.ibaraki.ac.jp/textbook/">http://apricot.cis.ibaraki.ac.jp/textbook/</a>
広島大学	e-Pat（文字・画像付き音声教材）	EPUB PDF	iOS	UDブラウザ	○音声読み上げ（合成音声） ○読み方指定による、正確な読み上げ ○カタカナによる全ての漢字のふりがな表示 ○単語を選択して、辞書を引く ○選択された文字（文）の読み上げ ○原本教科書画像の表示・しおり・書き込み機能	・小学校 113人 ・中学校 23人 ・高等学校 1人 ・特別支援学校 小学部 36人 中学部 11人 高等部 4人 計 188人	ダウンロード 郵送 持ち込み <a href="https://home.hiroshima-u.ac.jp/ujima/onsei/index.html">https://home.hiroshima-u.ac.jp/ujima/onsei/index.html</a>
愛媛大学	UNLOCK	WAV MP3 TXT EPUB PDF	Windows、iOS、macOS	・WAV：電子辞書、音声ペン ・MP3：MP3を再生できるすべてのソフトウェア ・TXT：電子辞書 ・EPUB：iOSのブック ・PDF：PDFを表示できるすべてのソフトウェア	○電子辞書、パソコン、タブレットでのテキスト表示・音声再生（挿絵なし）、音声ペンでの再生（テキスト・挿絵なし）に対応 ○小学校・中学校・高等学校の教科書（実技系も含む全教科）が対象 ○音声は合成音声。聞きやすい音声の種類（明るい女性/男性・落ち着いた女性/男性）、再生速度（0.6倍～1.2倍）が選択できる。 ○音声ペンは、教科書に貼ったシールを音声ペンでタッチして読み上げる。自分の教科書を見ながら音声を通して内容を理解することで、読書に近い方法で教科書を読むことができる。	・小学校 81人 ・中学校 25人 計 106人	郵送 <a href="http://treasure.ed.ehime-u.ac.jp/unlock/index.html">http://treasure.ed.ehime-u.ac.jp/unlock/index.html</a>

# 音声教材のサンプル集について

文部科学省では、発達障害等により、通常の検定教科書では一般的に使用される文字や図形等を認識することが困難な児童生徒に向け、教科書デジタルデータを活用した音声教材の効率的な製作方法等について実証的に研究しています。

これにより製作された音声教材の普及促進を図るため、音声教材のサンプル集(CD)を作成し、全国の市町村教育委員会や教科書センターに配布しています。



音声教材ってそもそもどんなもの？

どうやって使うのか、一度視聴してみたい。

うちの子に音声教材が有効かどうか試してみたい。

**このような場合は、音声教材のサンプル集を是非ご活用ください！**

## ○サンプル集は誰が視聴・利用できますか？

発達障害等により読み書きが困難な児童生徒やその保護者・学校関係者等、そのほか当該教材の普及促進を目的とした利用が可能です。

## ○サンプル集はどこで視聴できますか？

- ・平成27年度小学校教科書の内容を中心としたサンプル集：全国の教科書センター
- ・平成28年度中学校教科書の内容を中心としたサンプル集：都道府県・市町村教育委員会

## ○サンプル集はどのような内容ですか？

当時文科省の委託により音声教材を製作していた以下の3団体の音声教材をお試しで視聴することができます。

- 公益財団法人リハビリテーション協会の「マルチメディアデージー教科書」
- 東京大学先端科学技術研究センターの「Access Reading」
- NPO法人エッジの「音声教材BEAM」



このほか、現在製作されている音声教材については、文部科学省ホームページをご覧ください。[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/kyoukasho/1374019.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoukasho/1374019.htm)

# 令和3年度音声教材普及推進会議実施要項

文部科学省初等中等教育局教科書課

## 1. 趣旨

発達障害等により、通常の検定教科書等において一般的に使用される文字や図形等を認識することが困難な児童生徒に向けた教科用特定図書等としての音声教材について、各教育委員会等の教科用特定図書等の担当者等に対して周知を図り、もって音声教材の普及推進に資することを目的として本会議を開催する。

## 2. 対象者

- (1) 各都道府県教育委員会の教科用特定図書等担当者
- (2) 市区町村教育委員会の教科用特定図書等担当者
- (3) 学校の教員、保護者等

## 3. 開催方法等

YouTube の録画動画配信（一般公開）とし、配布資料は文部科学省ホームページに掲載する。配信開始日等は後日連絡する。

## 4. 内容

本会議の内容は概ね以下のとおりとする。

- (1) 文部科学省行政説明
- (2) 令和3年度音声教材の効率的な製作方法に関する調査研究の受託団体による説明（各団体の製作する音声教材の特徴・使用方法等）
  - ・公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会
  - ・東京大学先端科学技術研究センター
  - ・NPO法人エッジ
  - ・茨城大学
  - ・広島大学
  - ・愛媛大学
- (3) 学校現場におけるアセスメントとICT利用による読み書き支援  
（東京大学先端科学技術研究センター 近藤武夫准教授）

## 5. 質問事項等記入用紙の提出

- (1) 本会議における情報発信等の参考とするため、質問事項等があれば提出すること。
- (2) 都道府県教育委員会の教科用特定図書等担当者は、域内の市区町村教育委員会（政令市教育委員会も含む）の教科用特定図書等担当者に質問事項

等について別紙により照会し、一つのファイルに取りまとめの上、文部科学省に提出すること。その他、都道府県教育委員会からの質問事項等がさらであれば、別紙に追記した上で提出すること（質問事項等がない場合は提出不要）。

(3) 市区町村教育委員会（政令市教育委員会も含む）の教科用特定図書等担当者は、質問事項等がある場合は別紙にまとめ、都道府県教育委員会に提出すること。

(4) 質問事項等を提出する際には、あらかじめ、下記URLにおいて掲載している過去の音声教材普及推進会議の配布資料・説明動画や音声教材に関するQ&A等を確認すること。

（文部科学省ウェブサイト）

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/kyoukasho/1374019.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoukasho/1374019.htm)

(5) 提出方法等は以下のとおりとする。

**【提出方法】**

電子メールの添付ファイルにより提出

**【提出期限】**

7月9日（金）

**【提出先】**

文部科学省初等中等教育局教科書課教科用特定図書普及促進係

E-mail : [kyokasyo@mext.go.jp](mailto:kyokasyo@mext.go.jp)